

昭和52年度 日本気象学会 東北支部講演会 開催

東 北 支 部

日本気象学会東北支部講演会は、仙台管区気象台の東北地方調査研究会と共催で、10月25日～26日の両日に仙台市で開かれ、東北地方の気象官署、東北大学、緯度観測所、その他の学会員によって、20題の講演発表が行なわれた。

発表されたテーマは、雨、雪に関する広域あるいは各地域での事例解析、降雨降雪量の予想、雨雪の判定などが多く取り上げられたが、これは、日常気象業務に従事する会員が、最も関心の深い問題でもあり、必然的な傾向と言えよう。

その他、測器、現象の季節変動、沿岸波浪などのほか、大学、緯度観測所では、それぞれ独自の立場から研究テーマが取り上げられ、また、これらの発表の間に、調査研究会で要請した、気象庁海洋気象部海洋課長半沢博士の特別講演があり、2日間にわたり、内容的にも充実した講演、質疑応答が行なわれた。

講演題目および発表者は次のとおりである。

1. 秋田県における雨の降り始めの時間について (アメダス利用の第1報)
……………秋田地方気象台 菊地 陸
2. AMeDAS 毎時雨量分布図からみた南岸低気圧による関東および東北地方南部の大雨
……………福島地方気象台 五ノ井信雄
海老名睦男
3. 昭和50年8月5日～7日の東北地方の前線性大雨について
……………仙台管区気象台 黒沢真喜人
酒井 一
牧田 三夫
4. 山形県の大雷雨予想について
……………山形地方気象台 小野寺晶夫
5. 福島県における報道機関用最高最低気温
……………仙台管区気象台 野口 和則
6. 昭和51年岩手県の冷害と気象
……………盛岡地方気象台 工藤 敏雄
岩手県農業試験場 宮部 克己

7. 気候変動のための観測点
……………学会員 木村 耕三
 8. 極運動の年周成分に作用する気象現象
……………緯度観測所 菊地 直吉
 9. 炭酸ガス・水蒸気の近赤外吸収帯
……………東北大学 山内 恭
田中 正之
 10. 福島県における雨雪分布の特異性
……………仙台管区気象台 加藤 正通
 11. 重相関回帰式による青森県の降雪量予想 (季節風タイプ) ……………青森地方気象台 吉永 泰祐
 12. 円筒型雨量計と温水式転倒ます型雨量計による冬季降水量の比較について
……………秋田地方気象台 安藤 清
 13. 地形性降雨のシミュレーション
……………仙台管区気象台 平沢 正信
 14. 1977年1月末から2月上旬にかけての季節風雪雲と850mb 面の流れの場との対応について
……………福島地方気象台 川添 信房
 15. 1977年5月15日から17日にかけての発達した低気圧の北東進に伴う太平洋岸の大雨
……………仙台管区気象台 菅原 吉夫
千葉 孝史
 16. 本邦付近における圏界面の季節変動
……………福島地方気象台 藤原 仁
 17. 青森県太平洋側沿岸海上の風と波の特性 (その3)
……………八戸測候所 田頭 正広
 18. 1976年10月29日強風による高波について
……………酒田測候所 芦野四三二
 19. 山形の脈動と日本海の波浪について
……………山形地方気象台 鈴木 健
- 特別講演
海洋と大気の大規模相互作用について
……………気象庁 半沢 正男

(市川昌久, 仙台管区気象台)